

単元名 1年間の見通し・目標を立てよう！

(新学期スタートプロジェクト)

単元の目標

	資質能力の分類	資質能力別の分類
社会的実践力	A【地域理解】	
	B【社会参画に関する資質能力】	○1年間を通して目指したい姿や身に付けたい力を確認し、その実現に向けて取り組みたいこと・意識したいことを表現できる。
	C【人間関係形成に関する資質能力】	○個人での目指したい姿や身に付けたい力を発表し合い、3年生全体で目指す姿や身に付けたい力を具体化することができる。
	D【自律的活動に関する資質能力】	○自身や学級の現状を把握した上で、これから伸ばしていきたい力や、改善していきたいことなどを考えることができる。

評価規準

資質能力		評価規準
A ◎地域理解		
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	・1年間で取り組む行事・活動、それらを通して目指したい姿・身に付けたい力を具体的に記入している。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	
	3 ☆提案・発信する力	
	4 ★好奇心・探究心	・自身の現状と1年間を通して目指したい姿を踏まえて、これから身に付けていきたい力などを考えようとしている。
	5 ★困難を解決しようとする心	
C 関人する関係形成能力に	1 ☆伝え合う力	・1年間の行事・活動を通して目指したい姿や、その姿に近づくために身に付けたい力を、同級生などに伝えようとしている。
	2 ☆協働する力	
	3 ★他者受容	
D 関する自律的活動能力に	1 ☆感じ取る力	・自身や学級の現状を把握した上で、これから伸ばしていきたい力や、改善していきたいことなどを考えようとしている。
	2 ☆創出する力	
	3 ★自己肯定感	

単元の指導

(全 4 時間)

月	小単元名	プロセス	時	主な学習活動	関連する教科・領域	評価項目(評価方法)
4	1年間の見通しを持つ	問題の理解 現状把握・計画する・見直しを持つ	1	・進級までの主な活動について確認し、1年間の見通しを持つ。	【特別活動 学級活動】 【国語 話すこと 聞くこと】	・B1 ☆見通す力 (ポートフォリオ個人)
4	進級までに目指す姿を考えよう	課題への気づき 課題設定	1	・進級までに目指す姿や身に付けたい力をあげる。		・B4 ☆好奇心・探求心(ポートフォリオ個人) ・D1 ☆感じ取る力 (ポートフォリオ個人・他者)
4	目指す姿の次元のための具体を確認しよう	まとめ 振り返り	2	・目指す姿・身に付けたい力の実現に向けて、意識することや取り組むことを話し合う。		・C1 ☆伝え合う力 (ポートフォリオ個人・他者)
時数計			4	時間		

単元名 住田町の魅力と課題を明らかにしよう！

(第 1 単元)

単元の目標

	資質能力の分類	資質能力別の分類
社会的実践力	A【地域理解】	○地域の方々の講話や調査活動を通して住田町の良いところや課題に気付くことができる。
	B【社会参画に関する資質能力】	○調査活動を通して地域資源や取組について理解を深め、観点ごとに模造紙等に整理することができる。
	C【人間関係形成に関する資質能力】	○地域の方々の講話を通して、自分たちと異なる立場や世代の人達の考えを受け止め、新たな発見や疑問を適切に伝えることができる。
	D【自立的活動に関する資質能力】	○これまで気付かなかった住田町の魅力や課題に気付き、それを基に新たな疑問や課題を自分の中に見出すことができる。

評価規準

資質能力		評価規準
A ◎地域理解		・調査活動、地域の方々の講話を通して、住田町の良いところや課題に気付こうとしている。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	・オリエンテーションを通して、今年度の活動が「住田の魅力を広めるための計画を立てよう」であるという目的を確認し、1年間の活動、付けたい力についての見通しを持つようとしている。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	・住田の魅力や課題を客観視するために、他地域の魅力や課題について客観的な情報(インターネットやパンフレット等)を使い、分野ごとに整理して、理解を深めようとしている。
	3 ☆提案・発信する力	
	4 ★好奇心・探究心	
	5 ★困難を解決しようとする心	
C 関人す間る関係資質形成力に	1 ☆伝え合う力	
	2 ☆協働する力	
	3 ★他者受容	・地域の方々の講話を聴く中で、自分たちが知らなかった視点やものの考え方があることを知り、住田町に関する新たな知識や考え方を受け入れようとしている。
D 関自す律的活資質動に力	1 ☆感じ取る力	・講話や魅力、課題をまとめる活動を通して、これまで気付かなかった住田町の新しい魅力や課題についてより深く探求しようとしている。
	2 ☆創出する力	
	3 ★自己肯定感	

単元の指導

(全 9 時間)

月	小単元名	プロセス	時	主な学習活動	関連する教科・領域	評価項目(評価方法)
5	オリエンテーション	問題の理解 現状把握	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一年間の見通し</li> <li>・去年行った地域創造学を振り返る。</li> <li>・R3・4年度の地域創造学の目的を確認する。</li> <li>・1年間を通してどのようなことをするのか見通しを持つ。</li> </ul>	【国語 話すこと 書くこと】  【社会 私たちの暮らしと現代社会】 【社会 地方自治と住民の参加】	・B1 ☆見通す力 (ポートフォリオ個人)
5	他地域を知る	情報収集	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域資源や人材等の把握</li> <li>・インターネットやパンフレット等を使い住田町や他地域の情報収集を行う。</li> <li>・魅力を複数の観点に絞り、模造紙等でまとめ、地域の魅力についての理解を深める。</li> </ul>		・B2 ☆多角的・多面的に考える力 (ポートフォリオ個人) ・A ◎地域理解 (ポートフォリオ個人)
6	地域の人から学ぶ	情報収集(講話)	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の方々の話を聞き、住田町の魅力や課題を知る</li> <li>・住田の町づくりや住田町の魅力を活かして働いている人(林業、農業、畜産業等)に携わっている方々の講話を聴き、住田町の魅力とともに課題に気付く。</li> </ul>		・C3 ☆他者受容 (ルーブリック) ・A ◎地域理解 (ルーブリック)
6	住田を知る	まとめ 振り返り	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住田町の魅力、課題のまとめ</li> <li>・前時までに学習した地域の魅力や地域の方々からの講話を受け、住田町の魅力、課題を話し合う。</li> <li>・模造紙等にまとめる。</li> </ul>		・D1 ☆感じ取る力 (ポートフォリオ個人・他者)
時数計			9	時間		

単元名 気になる魅力や課題について詳しく調べてみよう！

(第 2 単元)

単元の目標

	資質能力の分類	資質能力別の分類
社会的実践力	A【地域理解】	○自分がより追究したい住田町の魅力や課題を自分で選択し、調査活動(資料調査、インタビュー等)を通してさらに理解を深めることができる。
	B【社会参画に関する資質能力】	○住田町の魅力、課題について地域の資源を活かしながら調査活動を行い、自分の新たな気づき、発見を他者に伝えることができる。
	C【人間関係形成に関する資質能力】	○自分が追究した魅力や課題について観点ごとに整理し、その内容を聞き手のことを意識しながら他者に伝えることができる。
	D【自立的活動に関する資質能力】	○調査活動や共有活動を通して、自分の追究した内容仲間が追究した内容に関連性を見出したり、新たな疑問や気づきを見つけたりすることができる。

評価規準

資質能力		評価規準
A ◎地域理解		・追究活動を通して、より深く住田町の魅力や課題について理解を深めようとしている。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	・地域の魅力や課題を追究するための取組を見通し、地域のどの人に聞けばより探究できるか、どのような取組が効果的かを検討し、調査活動に取り組もうとしている。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	・追究活動のまとめを通して、調査活動で学んできた情報を整理・分析し、自分の言葉でまとめようとしている。
	3 ☆提案・発信する力	
	4 ★好奇心・探究心	・住田町の魅力や課題を深く探究するために、地域の方や専門の方々から、話を聞き同時に自分たちの気づき、疑問を相手に伝えようとしている。
	5 ★困難を解決しようとする心	
C 関人す間る関係資質形成能力に	1 ☆伝え合う力	・共有する活動において自分のこれまでの新しい学びが聞き手に伝わるように要点を絞って、写真などの視覚教材等を用いながら適切に発表しようとしている。
	2 ☆協働する力	
	3 ★他者受容	
D 関自的る資質活動能力に	1 ☆感じ取る力	・追究活動において、様々な観点で魅力や課題について追究し、新たに気づいたことや発見を自分で整理し、探究する活動へつなげようとしている。
	2 ☆創出する力	・共有する活動において、感じたことや考えたことを基に新たな発想やイメージを生み出し、プロジェクトの視点を見付けようとしている。
	3 ★自己肯定感	

単元の指導

(全 16 時間)

月	小単元名	プロセス	時	主な学習活動	関連する教科・領域	評価項目 (評価方法)
6	見通しをもとう	問題の理解 課題への気づき 計画する 見通しを持つ 現状把握、 課題設定、	2	○魅力、課題追求調査に向けた準備 ・魅力、課題追求調査の進め方を知り、見通しを持つ。 ・深く追求したい魅力、課題を選択する。	【国語 話すこと】 【国語 話し合っ て 提案をまとめよう】 【国語 社会と関わ りを考えよう】	・B1 ☆見通す力 (ポートフォリオ個人)
7	追求調査をしよう	情報収集、実施 改善	8	○魅力、課題追求調査の実施 ・訪問先を決定する。 ・聞きたい内容をまとめる。 ・地域の方や専門の方々に話を聞きに行く。 ・聞いた内容や訪問して分かったことを記録し、まとめる。		・A ◎地域理解 (ポートフォリオ個人) ・B4 ☆好奇心・探 求心(ポートフォリオ個人) ・D1 ☆感じ取る力 (ポートフォリオ個人・他者)
9	魅力や課題をまとめよう	まとめ 振り返り	4	○追求した魅力や課題についてのまとめの作成 ・他者に発表するための内容を整理しまとめる。		・B2 ☆多面的・多 角的に考える力 (ポートフォリオ個人)
9	魅力や課題を伝えよう	問題の理解 現状把握	2	○追求した魅力や課題についての共有 ・他者に追求した魅力や課題について発表し共有する。		・C1 ☆伝え合う力 (チェックリスト) ・D2 ☆創出する力 (ルーブリック)
時数計			16	時間		

単元名 自分の進路を考えよう。

(職場体験に関する学習)

単元の目標

	資質能力の分類	資質能力別の分類
社会的実践力	A【地域理解】	○職場体験を通して地域で働く人・企業の思い・願いに触れるとともに、将来自身がどのような形で住田町に貢献していきたいか考えることができる。
	B【社会参画に関する資質能力】	○自身の特性や興味を踏まえて体験したい職業を選択し、働く人の思い・願いや、今後身に付けたい力・取得したい資格などを考えることができる。
	C【人間関係形成に関する資質能力】	○体験を通して、中学生にすべき行動や考え方を学び、その学びを自身の進路の見通しに活かすことができる。
	D【自律的活動に関する資質能力】	○自分の夢の実現に向けて、今後どのような力を身に付ける必要があるか、どのような進路が想定されるかイメージすることができる。

評価規準

資質能力		評価規準
A ◎地域理解		・地域で働く人・企業の思い・願いをまとめたり、将来自身がどのような形で住田町に貢献していきたいか考えようとしている。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	・職場体験学習を通して、知りたいこと・身に付けたい力などを記入している。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	
	3 ☆提案・発信する力	
	4 ★好奇心・探究心	
	5 ★困難を解決しようとする心	・体験先の方から、働くことへの心構えや中学生の段階でやるべきこと、やらなければいけないことを学び、気付いたことや、進路決定に向けて活かしていきたいことをまとめようとしている。
C 関人する関係資質形成力に	1 ☆伝え合う力	
	2 ☆協働する力	
	3 ★他者受容	・体験先の方が直面した困難や、それを乗り越えるために努力したこと・工夫したことなどを学び、その学びをまとめようとしている。
D 関自律的活動に資質能力	1 ☆感じ取る力	・自分の夢の実現に向けて、今後どのような力を身につける必要があるか、どのような進路が想定されるかイメージし、その気付きをまとめようとしている。
	2 ☆創出する力	
	3 ★自己肯定感	

単元の指導 (全 7 時間)

月	小単元名	プロセス 時	主な学習活動	関連する 教科・領域	評価項目 (評価方法)
7	自分の適性を知ろう！	計画する 見通しを持つ、現状把握 課題設定 2	・職場体験学習の見通しを持った上で、自身の職業適性を調べたり、体験したい職業を選択したりする。 ※有住中学校は森林学習の事前学習を行う(1時間)	【特別活動 学級活動】	・B1 ☆見通す力 (ポートフォリオ個人) ・D1 ☆感じ取る力 (ポートフォリオ個人)
7	体験する職業について知ろう！	情報収集 2	・体験する職業についての事前調査(仕事内容、質問事項など)に取り組む。		
8	職場体験についてまとめよう！①	まとめと振り返り 2	・体験してきた内容や、体験を通して学んだことなどをまとめる。		・A ◎地域理解 (ポートフォリオ個人・他者) ・B5 ★困難を解決しようとする心 (ポートフォリオ個人・他者) ・C3 ★他者受容 (ポートフォリオ個人)
8	職場体験についてまとめよう！②	まとめと振り返り 1	・体験を踏まえて、自身の夢や、その実現に向けて身に付けたい力、進みたい進路について考える。		
時数計		7	時間		



単元名 ○○が起こった際に、安全に避難するために

(防災に関する学習)

単元の目標

	資質能力の分類	資質能力別の分類
社会的実践力	A【地域理解】	○住田町等で自然災害が発生した場合、どこで・どのような危険があるか把握し、安全に避難するためにどのように行動しなければならないか考えることができる。
	B【社会参画に関する資質能力】	○ハザードマップ等を読み取り、どのような地域で活動している場合でも安全に避難するための経路を考えることができる。
	C【人間関係形成に関する資質能力】	○発生した自然災害やハザードマップの特徴を読み取り、それに伴う被害などについて周囲で確認し合うことができる。
	D【自律的活動に関する資質能力】	○自然災害の特徴・予想される被害などを踏まえ、自分に起こり得る危険をイメージし、それを避けるため行動案を考えることができる。

評価規準

資質能力		評価規準
A ◎地域理解		・住田町等で自然災害が発生した場合、どこで・どのような危険があるか把握し、安全に避難するためにどのように行動しなければならないか考えようとしている。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	・災害発生時に安全に避難するために身に付けたい力などを具体的に記入している。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	
	3 ☆提案・発信する力	・住田町とは異なる地域で活動している場合に発生した自然災害を想定し、ハザードマップを読み取り、安全に避難するための経路を考えようとしている
	4 ☆好奇心・探究心	
	5 ☆困難を解決しようとする心	
C 関人する関係形成能力に	1 ☆伝え合う力	
	2 ☆協働する力	・発生した自然災害やハザードマップの特徴を読み取り、それに伴う被害などについて周囲で確認し合おうとしている。
	3 ☆他者受容	
D 関する自律的活動に力	1 ☆感じ取る力	・町内で発生した自然災害の特徴・予想される被害などを踏まえ、自分に起こり得る危険をイメージし、それを避けるため行動案を考えようとしている。
	2 ☆創出する力	
	3 ☆自己肯定感	

単元の指導 (全 5 時間)

月	小単元名	プロセス	時	主な学習活動	関連する教科・領域	評価項目 (評価方法)
8	自然災害の特徴を学ぼう！	問題の理解 現状把握・料西する 見通しを持つ	1	・単元の目的や学習活動に関しての見通しを持った上で、自然災害の特徴(一般的な特徴)や発生のメカニズムについて学ぶ。	【理科(第二分野) 大地の成り立ちと変化】 【社会(地理) 日本の様々な地域】	・B1 ☆見通す力 (ポートフォリオ ※「自分達の成長を確かめよう!」で個人内評価)  ・A ◎地域理解、B3 提案・発信する力、C2 ☆協働する力(ワークシート ※ルーブリック)
9	自然災害に関わる組織について学ぼう！	情報収集	1	・一般的な特徴を踏まえ、自然災害が発生した場合、どのような機関がどのような対応や対処を行うのかを学ぶ。		
9	危険箇所や避難経路を考えよう！	実施・改善	2	・住田町やその他の場所(盛岡)で活動していることを想定し、単元で取り扱う自然災害が発生した場合、どこで・どのような危険が起こり得るか考える。		
9	防災学習についてまとめよう！	まとめ 振り返り	1	・自然災害が発生した場合、安全に避難するために必要なこと、今後も学んだり確認したりする必要があることを考える。		・A ◎地域理解、D1 ☆感じ取る力 (振り返りシート ※個人内評価)
時数計			5	時間		

単元名 **自分が追究するプロジェクトを考えよう！**

(第 3 単元)

単元の目標

	資質能力の分類	資質能力別の分類
社会的実践力	A【地域理解】	○地域の方々から聞いた内容や住田町の産業や環境等の現状を踏まえ、住田町の良さや課題を追究する自己プロジェクトを考案することができる。
	B【社会参画に関する資質能力】	○取り組んでいる作業を目的と照らし合わせたり、作業が上手くいかない場合はその原因を追及したりするなど、よりよいプロジェクトの考案に向けての行動を起こすことができる。
	C【人間関係形成に関する資質能力】	○調査活動で自分が学んだことを整理して、考案したプロジェクトを提案することができる。また、仲間のプロジェクトで気になったことを伝えたり、助言したりすることができる。
	D【自立的活動に関する資質能力】	○これまでの自分の学びを振り返り、住田町の魅力や課題を意識した自己プロジェクトの案を作成することができる。

評価規準

資質能力		評価規準
A ◎地域理解		・これまで学んできたことを踏まえつつ、必要に応じて地域の方々の助言を受けながら、住田町の良さや課題を追求する自己プロジェクトを計画しようとしている。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	
	2 ☆多角的・多面的に考える力	
	3 ☆提案・発信する力	・追究調査活動で得た内容を、成果物等で示し、住田町の魅力や課題を意識した自己プロジェクトの案を発表しようとしている。
	4 ★好奇心・探究心	
	5 ★困難を解決しようとする心	・自分が取り組みたいプロジェクト立案に向けて、課題点や調べなければいけないことを必要に応じて様々な人に相談し、自分で追加の調査を行いながら解決しようとしている。
C 関人す間る関係資質形成能力に	1 ☆伝え合う力	・自己プロジェクトを提案する活動を通して、学んできた住田町の魅力や課題について更に知りたいことや気付いたことを学級で伝え、交流しようとしている。
	2 ☆協働する力	
	3 ★他者受容	・提案活動後、自分が調べた住田町の魅力や課題以外にも様々な魅力や課題があること、異なった捉え方があることに気づき、興味や疑問を持つようとしている。
D 関自的る資質活動に力	1 ☆感じ取る力	
	2 ☆創出する力	・自分が調査した住田町の魅力や課題、新たな視点も加えながら、住田町の魅力を高めるプロジェクトの案を作成しようとしている。
	3 ★自己肯定感	

単元の指導

(全 13 時間)

月	小単元名	プロセス	時	主な学習活動	関連する教科・領域	評価項目 (評価方法)
10	プロジェクトを立案しよう！	問題の理解 現状把握	5	○追究したい自己プロジェクトの決定 ・何を、何のために、誰のために、等の様式で書く。 ・自己プロジェクト発表のための準備をする。	【国語 話すこと 書くこと】	・D2 ☆創出する力 (ルーブリック) ・A ◎地域理解 (ポートフォリオ個人)
10	プロジェクトを提案しよう！	実施・改善	6	○考えた自己プロジェクトを仲間や先生方に提案 ・追究したい自己プロジェクトを発表する。 ・発表についての質疑をもらい、必要に応じて返答する。		・A ◎地域理解 (ポートフォリオ個人・他者) ・B3 ☆提案・発信する力 (ポートフォリオ個人・他者) ・C1 ☆伝え合う力 (ポートフォリオ個人・他者)
11	プロジェクトを選択しよう！	計画する 見通しを持つ	2	○プロジェクトチームの結成 ・他の人が提案したプロジェクトや自分が提案したプロジェクトの中で追究したいプロジェクトを選択し、チームを作る。		・C3 ☆他者受容 (ポートフォリオ個人・他者)
時数計		13	時間			

単元名 住田町の魅力を高めるための計画を立てよう！

(第 4 単元)

単元の目標

	資質能力の分類	資質能力別の分類
社会的実践力	A【地域理解】	○専門の方や地域の方々の助言を踏まえながら、具体的なプロジェクトの案(発信方法等含む)を作成することができる。
	B【社会参画に関する資質能力】	○発表会で、これまでの成果物を示し、プロジェクト取組の要点をまとめて発表することができる。
	C【人間関係形成に関する資質能力】	○発表会に向けて、役割分担を行いながらグループで協力し進めることができる。 ○発表会にて、質疑応答を行いプロジェクトプランをより深めようとしている。
	D【自立的活動に関する資質能力】	○振り返りの際に、自身の成長を実感したり、次年度に向けての意欲を高めたりすることができる。

評価規準

資質能力		評価規準
A ◎地域理解		・よりよいプロジェクトの作成に向けて、調査活動を通して気付いたことや仲間、地域の方々の助言を活かして、プロジェクトの案をまとめようとしている。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	・2年生の活動のまとめは「住田町の魅力を高める、課題を改善するためのプランを立てる」ことを確認し、プラン発表会までの見通しを持つようとしている。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	
	3 ☆提案・発信する力	・発表会やレポート作成を通して、住田町の魅力を広げるプロジェクトや課題を改善するプロジェクトの案を作成し、よりよい発信方法を図りながら発表しようとしている。
	4 ☆好奇心・探究心	
	5 ☆困難を解決しようとする心	・プラン発表会后に、地域の方に助言された内容や新しく得た知識を基にプロジェクトの案を追究しようとしている。さらに深く知りたい内容についても調査しようとしている。
C 関人する関係形成能力	1 ☆伝え合う力	・自分たちが考えたプロジェクトプランを分かりやすく伝えるために、きちんと観点を整理してまとめ伝えると同時に、新しく生まれた疑問や助言を相手に伝えようとしている。
	2 ☆協働する力	・「私は模造紙に発表内容をまとめる」「僕は発表会に向けての原稿を作成する」といったように、プロジェクト発表会に向けての役割分担を意識して活動している。
	3 ☆他者受容	
D 自立的活動能力	1 ☆感じ取る力	
	2 ☆創出する力	
	3 ☆自己肯定感	・振り返りの際に、自身の成長を実感したり、次年度に向けての意欲を高めたりしようとしている。

単元の指導

(全 17 時間)

月	小単元名	プロセス	時	主な学習活動	関連する教科・領域	評価項目(評価方法)
11	プロジェクトプランの見直しをしよう！	計画する 見直しを持つ	1	○プロジェクトプランの作成までの見直し ・選択したプロジェクトプラン作成までの時間数を確認し、自分たちの行動に見直しを持つ。	【国語 話すこと 聞くこと】	・B1 ☆見通す力(ポートフォリオ個人)
11	プロジェクトプランを吟味しよう！	実施・改善	5	○プロジェクトプランの作成 ・なぜやるのか、誰のためにやるのか等重点をまとめ、住田町の魅力、課題を意識したプロジェクトプランを立て、発表の準備をする。 ・発表会の場で、助言やアドバイスをいただきたいことをまとめる。		・B3 ☆提案・発信する力(ルーブリック) ・C2 ☆協働する力(ポートフォリオ個人・他者) ・C1 ☆伝え合う力(ポートフォリオ個人・他者)
12	伝え方を学ぼう！	情報収集、問題の理解 現状把握	2	○自分たちのプロジェクトプランを伝える練習 ・役割分担を行い、発表の練習を行う。		
12	発表しよう！	実施・改善	4	○プロジェクト発表会の実施 ・プロジェクトプラン内容を発表する。 ・助言等をきちんと記録する。 ・他グループで気になったものを聞き、積極的に質問を行う。		
1	プランの見直しを図ろう！	実施・改善、問題の理解 現状把握	4	○プロジェクトプランの見直し ・助言等をもとに、改めてプロジェクトを見直し、プロジェクト達成までの見直しを持つ。 ・気になったところがあれば、再び地域の人等に助言を仰ぐ。		・B5 ☆困難を解決しようとする心(ポートフォリオ個人) ・A ◎地域理解(ポートフォリオ個人・他者)
1	振り返りをしよう！	まとめ 振り返り	1	○活動の振り返り ・1年間の活動を振り返り、身に付いたと思う力、今後付けたい力を自分で考える。 ・来年度の見直しを持ち、長期休み中にやらなければいけないことを確認する。		・D3 ☆自己肯定感(ルーブリック)
時数計		17	時間			

単元名 自分たちの成長を確かめよう！

(進級プロジェクト)

単元の目標

	資質能力の分類	資質能力別の分類
社会的実践力	A【地域理解】	
	B【社会参画に関する資質能力】	○1年間を通して成長したこと・身に付いた力を、同級生・保護者・地域の方に表現できる。
	C【人間関係形成に関する資質能力】	○1年間を通して成長したこと・身に付けた力を発表し合い、2年生全体での成果を具体化することができる。
	D【自律的活動に関する資質能力】	○1年間を通して成長したこと・身に付けた力を確かめ合い、次のステージにどのように活かすか考えることができる。

評価規準

資質能力		評価規準
A ◎地域理解		
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	・自分たちの成長した姿や身に付けた力を、保護者や地域の方にどのようにして伝えたいか具体的に記入している。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	
	3 ☆提案・発信する力	・1年間の活動を通して成長したことや身に付いた力を、保護者や地域の方に発表している。
	4 ★好奇心・探究心	
	5 ★困難を解決しようとする心	
C 関人す間る関係資質形成能力に	1 ☆伝え合う力	・一年間の行事・活動を通して成長したことや身に付いた力などを、同級生や保護者・地域の方に伝えようとしている。
	2 ☆協働する力	
	3 ★他者受容	
D 関自律的資質活動に力	1 ☆感じ取る力	・一年間の行事・活動を通して成長したことや身に付いた力などを記入している。
	2 ☆創出する力	
	3 ★自己肯定感	・話し合い活動などを踏まえて、1年を通して身に付いた力や、4月と比べて成長したことなどを確かめている。

単元の指導 (全 4 時間)

月	小単元名	プロセス	時	主な学習活動	関連する教科・領域	評価項目 (評価方法)
3	一年間の成長を確認しよう!	問題の理解 現状把握	1	・1年間で取り組んできたことを確認し合い、成長したことや身に付いた力などを確認し合う。	【特別活動 学級活動】 【国語 話すこと 聞くこと】	・B1 ☆見通す力 (ポートフォリオ個人) ・D3 ☆自己肯定感 (ポートフォリオ個人・他者)
3	発表会の計画を立てよう!	目標への気づき 目標設定・計画する 互いに促す	2	・保護者や地域の方に、1年間を通して成長したことや身に付いた力を、どのように伝えたいか話し合う。		
3	一年間の成長を発表しよう!	実施・改善、まとめ 振り返り	1	・保護者や地域の方に、1年間を通して成長したことや身に付いた力を発表する。		
時数計			4	時間		